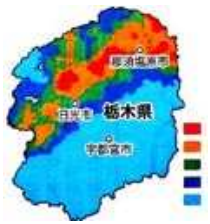
# 放射能から子どもを守り
# １人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.02.03//no.15




赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万　ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08．02現在換算値

〈放射能の恐ろしさを考える〉-1

## 放射線は遺伝子を傷つけ危険です

光は、人間に当たると影ができます。すなわち身体を通過することはありません。それに対して、放射線は、いま、ほとんどの人が知ることになったように、見えず、匂いも、味もなく、音もせず、身体を通過しても、痛くもかゆくも、何ら違和感がありません。ただ、放射線測定器だけが、放射能物質から放射線が出ていることを知らせてくれます。

私たち日光市内の生活環境は、放射能で汚染された土地･空気･食物という中ですが、一瞬に死に至る高放射線量ではありません。しかし、長期的に現在の低放射線量を受け、さらに放射性物質を含んだ飲食や呼吸から内部被ばくの危険があります。

放射線は、少しでも健康に危険で遺伝子を傷つけます。多くは身体の修復力と排除で健康が保たれますが、ガンや様々な疾病につながる可能性があります。

さて、1945年8月、広島･長崎への原爆投下は、放射線の超強力な爆風と超高熱線で、建物は跡かたもなくなり、多くの人をはじめ生物は一瞬のうちに炭と化し、皮膚がボロボロになり死に至りました。さらに「死の灰」「黒い雨」を知っているでしょうか。この原爆による放射能汚染と、空気中の放射性物質を含んだ雨に打たれて、被ばくした人たちが大勢います。この人たちが原爆症として、さまざまな症状を発症して苦しんでいます。政府は、60数年たった今でも、原爆の放射能が原因と認めようとしません。

しかし、裁判では、広範囲での「放射能物質を含んだ雨」を認め「より広域で『黒い雨』//広島原爆認定訴訟/8判決認める」との記事です。(2012.01.13/毎日新聞)

私は、この記事で改めて考えさせられました。一見原爆は一瞬に多く人々が被ばくして亡くなったイメージが強くありしたが、放射能汚染による低放射線量の被ばく者の多くの存在です。さらに、政府の被ばく者への姿勢です。

この広島の被爆者の訴訟は、私たちの未来の姿かもしれません。

日光市は、修学旅行生には「0．23μSv/h以下だから『安全』」と言いつつ、市内の子どもたち、市民には、『毎時1マイクロシーベルト以下で問題ない安全』と言います。

**風が吹くときは**
**マスクをしよう!!**

風の吹く日は、地表の放射性物質をまきあげ、それを吸い込むことになります。身体に入ると内部被ばくの危険が高まります。

---

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
❑栃木県原発崩壊前//0.030～0.067μSv/h❑

## ◆ひとこと電話で声を上げよう！

**放射能から子どもを守るため**
**園庭、校庭の表土を除去してください**
**給食は放射性物質のない食材を使って**

❑保育園･幼稚園//子育て支援課0288-21-5186
❑小中学校//学校教育課　0288-21-5181
❑環境課　0288-21-5152

**日光市放射能汚染分布**
2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm

| マイクロシーベルト/以上～未満 | | |
|---|---|---|
| 0.1 未満 | 1ヶ所 | 0.2% |
| 0.1-0.2 | 155ヶ所 | 28.8% |
| 0.2-0.3 | 187ヶ所 | 34.8% |
| 0.3-0.4 | 152ヶ所 | 28.3% |
| 0.4-0.5 | 30ヶ所 | 5.6% |
| 0.5-0.6 | 10ヶ所 | 1.9% |
| 0.6-0.7 | 2ヶ所 | 0.4% |
| 0.7-0.8 | 1ヶ所 | 0.2% |

## 放射能汚染の地に、取り残された日光の子どもたち

**日光市　保育園、幼稚園などの放射線量**　〈*2012.01.16～21―01.23～28/月-土〉

①栃木県、県教委会測定/2011.05.13-19//②③日光市測定、最低値、最高値④平均/繰り上げ

| | ① | ② | ③ | ④ | | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 並木保育園 | 0.31 | 0.15 | 0.21 | 0.18 | | 今市幼稚園 | 0.43 | 0.20 | 0.28 | 0.25 |
| せせらぎ保 | 0.42 | 0.19 | 0.37 | 0.27 | | 聖ヨゼフ幼 | 0.42 | 0.19 | 0.28 | 0.25 |
| 原町みどり保 | 0.31 | 0.13 | 0.25 | 0.21 | | 今市中央幼 | 0.36 | 0.08 | 0.11 | 0.10 |
| しばやま保 | 0.38 | 0.17 | 0.24 | 0.20 | | 長畑幼稚園 | 0.28 | 0.13 | 0.16 | 0.15 |
| 日光保育園 | 0.42 | 0.17 | 0.37 | 0.27 | | 清滝幼稚園 | 0.44 | 0.11 | 0.26 | 0.18 |
| 清滝保育園 | 0.25 | 0.12 | 0.31 | 0.22 | | 日光幼稚園 | 0.38 | 0.11 | 0.23 | 0.17 |
| 所野保育園 | 0.51 | 0.21 | 0.42 | 0.31 | | 聖ｱﾝﾄﾆｵ幼 | 0.42 | 0.14 | 0.31 | 0.23 |
| 小来川保育園 | 0.31 | 0.20 | 0.33 | 0.26 | | ふたら幼稚園 | 0.28 | 0.13 | 0.25 | 0.19 |
| 下原保育園 | 0.57 | 0.16 | 0.44 | 0.27 | | きぬ川幼稚園 | 0.53 | 0.17 | 0.26 | 0.22 |
| 藤原保育園 | 0.39 | 0.17 | 0.31 | 0.25 | | 大沢保育園 | 0.24 | 0.11 | 0.21 | 0.16 |
| 鬼怒川保育園 | 0.53 | 0.18 | 0.32 | 0.24 | | 芹沼保育園 | 0.48 | 0.13 | 0.29 | 0.21 |
| 三依保育園 | 0.33 | 休園中 | | | | さかえ保育園 | 0.28 | 0.10 | 0.21 | 0.15 |
| 高徳保育園 | 0.61 | 0.18 | 0.40 | 0.26 | | 明神保育園 | 0.24 | 0.08 | 0.16 | 0.11 |
| 足尾こども園 | 0.37 | 0.17 | 0.31 | 0.24 | | 宝珠保育園 | 0.31 | 0.12 | 0.25 | 0.19 |
| 栗山中央保 | 0.41 | 0.15 | 0.19 | 0.17 | | 杉の子保育園 | 0.37 | 0.12 | 0.34 | 0.23 |
| 湯西川保育園 | 0.20 | 0.11 | 0.16 | 0.14 | | きらきら保 | 0.19 | 0.07 | 0.25 | 0.16 |
| 落合児童館 | ― | 0.12 | 0.26 | 0.20 | | たんぽぽ託* | 0.56 | 0.17 | 0.23 | 0.20 |
| 豊岡児童館 | ― | 0.32 | 0.48 | 0.40 | | 杉並木託** | 0.34 | 0.17 | 0.29 | 0.23 |
| 塩野室児童館 | ― | 0.16 | 0.35 | 0.24 | | 鬼怒川託** | 0.58 | 0.28 | 0.53 | 0.43 |
| つばさ園 | ― | 0.16 | 0.27 | 0.24 | | 単位/毎時マイクロシーベルト//μSv/h | | | | |

〈測定地園庭の中心地//測定時間午前9時//地表50cm/*幼稚園/月-金〉　保-保育園、幼-幼稚園、児-児童館、託-託児所、足尾こども園-足尾認定こども園*㈱近代ビル管理、**宇都宮ヤクルト販売㈱

❖測定場所に疑問/10mメッシュで園全体と地表、ホットスポット測定が必要です。
❖除染対象 0.23μSv/h は大人基準。子どもは 2～3 倍敏感、最高値、地表の考慮を！

〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288-26-0130//nairamdal-1871@dream.jp

長野県/菅谷松本市長の講演から

# 『こどもと妊婦を放射線被ばくから守るために』

〈チェルノブイリ原発事故医療支援の経験を通して〉

3

## 子どもには汚染されているものは食べさせない！！

文部科学省の発表したセシウム表面沈着地図では、福島第一原発20km 圏内の汚染は300万ベクレル／㎡です。福島第一の汚染状況は、チェルノブイリの2倍です。除染して住めるのかどうか･･･政府はそろそろ国民に本当のことを言うべきです。福島市、郡山市、二本松市の汚染状況は、6万～30万ベクレル／㎡(日光/1～30万 Bq/㎡)です。お米からセシウムが出るのはあたりまえです。セシウム汚染された土壌に人間が住むとどうなるのかは、誰にもわかりません。事実を残していかなくてはいけません。

日本政府は、『復旧復興』を掲げていますが、復旧復興の前に、本当に復旧していい状況なのかどうか、汚染状況を把握するべきです。過去の被ばくに関する考え方は、『外部被ばくが危ない』でしたが、現在は、『内部被ばくも外部被ばくも同じくらい危ない』というものに変わっています。

政府は、がん発症リスクばかりを言いますが、それ以外のさまざまなリスクについて考える必要があります。(ぜんそく、心臓病、不整脈･･･早産、低体重児････)

**こどもには汚染されているとわかっているものは食べさせない**ことが重要です。子どもはゼロベクレルを目指す。でも、「40歳以上は食べる！」と決めないと、産業が成り立たなくなるので行政の長(松本市長)として、40歳以上は食べるように言っています。

私たちは、この国に原子力災害が起こってしまって、今もその最中であることについて自覚する必要があります。松本市では、事故後すぐに空間線量、土壌、水、給食の検査を始めました。国の基準は500ベクレル／kg ですが、松本市の給食基準はベラルーシと同じ40ベクレル／kg です。

測っていないものは極力食べない方がいい。国はストロンチウムの検査をしていないので魚は極力食べない方がいい。特に骨ごと食べる魚は避けるべきです。

チェルノブイリの被害の原因は、高濃度に汚染されたミルクだとされていますが、本当はミルクではありません。ミルク(食事)ならば、同じ家の兄弟は同様でしかるべきですが、兄弟によって全く状況が違うのです。同じ家のこどもなのに、甲状腺がんになる子とならない子がいます。

〈次号に続く〉

---

**緊　急 News**//1月26日、「横浜で子どもたちを放射能から守るには」の講演を計画していましたが、松本市長に対し「暴力的な脅し」があり、急きょ中止されました。直接の問題は講演主催者と関わりなく、470人の申込者に連絡に追われました。残念です。/S

放射能から子どもを守る

# ５年後、子どもと笑って過ごしていたいです♪

4

## 栄養教諭が、牛乳を飲んでいるか確認に！

○×市在住/仮名 ナナオ

山は動くのかしら？？？

いっそのこと、わたしが政治家になっちゃう？な～んて、思っちゃったりなんかもして、(ムリムリ)興奮して昨日は、なかなか眠れませんでした。たった一人での行動は限界がありますね。

また、学校側からの対応(仕返し！？)も気になります。

ちなみに、学校との話し合い後、低学年の我が子のところへ毎日、栄養教諭が、きちんと牛乳を飲んでいるか確認しに来ます。(頑張れ！息子！！)

怖い、怖い。。。　結局、何も言わずに黙っている方がいいのか。。。？

結局は、我が子がひどい目にあってしまう。こうして、こういうのがあるから、何も言えなくなっちゃうんだなぁ。

あの、爆発事故さえなかったら、学校側ともこうしていろいろやることもなく、仲良く！？平穏に今頃はやっていたのになぁ。。。

涙

すみません、なんだか、愚痴だか、日記みたいだかになってしまいました。(苦悩ママの日記っぽいですね。)

ちなみに、昨日の≪市長タウントーク≫でも、かの有名な！？(よくここでのぼっている)『放射能･放射線の正しい知識と理解講演会』のチラシを配られました。講師はもちろん菊池透先生です。主催は、○×市自治会長連絡協議会△支部です。事前質問のみの受付ですね(笑)

長くなりまして申し訳ありません。何が言いたいのかわからなくなってしまった感じです。これを読んで不快な気持になられた方がいらっしゃいましたら予めお詫びいたします。すみませんでした。　失礼します。

〈次号に、つづく〉

### 風の日　布団干しは危険です

寒い日々が続き、陽射しのよい日に布団を干す光景を見かけます。しかし、風のある日は、地面の放射性物質が舞い上がり布団につきやすいので避けたいです。

### ■映　画　１０万年後の安全■

フィンランド放射性廃棄物処分場建設

❖ 2月19日/①13:45～　②15:30～

❖ 矢板市民文化会館小ホール

❖ 0287－43－7532「小川〉